

総合的な学習の時間 年間指導計画（錦城中学校第1学年 49時間）

探究課題	自己の生き方・自己の将来について具体的・現実的なものとして考えることで、自己の将来を力強く着実に切り拓いていこうとする資質・能力の育成を図り、社会に主体的に参画し、持続可能な社会の創り手となり得る（職業・勤労・将来設計）		
ねらい	自己の生き方・自己の将来について見つめ直し、自分の生き方を現実的・具体的なものとして考えるための課題の発見（もの）（49時間）		
	学習活動（地域調べ①）	育成を目指す資質・能力	学習活動（地域に生きる・STEAM・プログラミング） 育成を目指す資質・能力
4月	オリエンテーション ○地域の特色について得られた情報をもとに、自分の考えを班で話し合い、現状と課題を整理する。（現状、よさ、課題）	地域に関するアンケートから課題を見出す。（B①）	
5月	【課題の設定】 ○地域のフィールドワーク等で見つかった課題の解決に向けた計画を立てる。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集している。（B②）	
6月	【情報の収集】 ○設定した課題についての情報を収集する。（FW）	仮説を立てて検証方法を考える。（B①）	
7月	【整理・分析】 ○収集した情報をもとに、課題の解決策を整理し、今後の取組の方向性を考える。	課題の解決に向けて適切に情報を収集する（B②）	
8月	【まとめ・表現】 ○これまでの学習をまとめる。 ○整理分析したことから、解決すべき課題を明らかにする。	課題を明らかにするために、事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。（B③） 調べたことを適切に把握し、視点を決めて多様な情報を分析する（B③）	
9月	【整理・分析】 ○発表を通していろいろな人からの意見を聞き、それを踏まえて自分たちの計画を見直す。	学習の仕方を振り返り、今後の学習活動の見直しを持つ。（B⑤）	
10月		わかったことや考えたことを明確に表現する。（B④）	
11月		積極的に地域の活動に参画しようとする。（C⑤）	
12月			【整理・分析】 ○「STEAM教育」の学習として、自分の考えを表現するためのツールとしての【Canva】【google サイト】【Akadako】【Tinker CAD】。の使用方法を理解する。
1月			解決すべき課題を整理する。（B③）
2月			○STEAM教育・プログラミングを使って課題解決の方法を探る。
3月			○学習した内容をもとに、地域の現状や課題についての解決策や取組のアイデアを学習したツールを使い発表する。
各教科等との関連	国語・・・社会生活に必要な国語の知識や技能 社会・・・調査や諸資料から、様々な情報を効果的にまとめる技能 技術家庭・・・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する力 道徳・・・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力と心情、実践意欲と態度		国語・・・自分の思いや考えを確かなものとしたり、広げたり深めたりする力 特別活動・・・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについての理解と行動の仕方

※育成を目指す資質・能力の例・・・

- A：知識及び技能
B：思考力、判断力、表現力等 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ⑤振り返り
C：学びに向かう力、人間性等 ①主体性 ②自己理解 ③協働 ④他者理解 ⑤地域貢献

探究課題	自己の生き方・自己の将来について具体的・現実的なものとして考えることで、自己の将来を力強く着実に切り拓いていこうとする資質・能力の育成を図り、社会に主体的に参画し、持続可能な社会の創り手となり得る（職業・勤労・将来設計）		
ねらい	自己の生き方・自己の将来について見つめ直し、自分の生き方を現実的・具体的なものとして考えるための課題をSTEAM教育を通して解決する（ひと）（70時間）		
	学習活動（STEAM・プログラミング）	育成を目指す資質・能力	学習活動（地域に生きる・職業・ボランティア） 育成を目指す資質・能力
4月	オリエンテーション 【課題の設定】STEAM教育について ○既習内容から明らかになった地域の課題を、テクノロジーで解決し、「持続可能な世界（社会・地域）」を実現するための方策について考える。 【情報の収集】 ○それぞれの課題を解決するための方策について、最適な手法をSTEAMの中から探し、課題解決に迫る。		
5月	○SDGsについて知り、「持続可能な世界（社会・地域）」を実現するための方策について議論し明らかにする。 ○SDGsの理念、様々な取り組みについて知り、まとめる。 ○課題をさらに絞り込み、課題解決に必要な情報の収集を行うための見通しをもつ。 ○フィールドワークを通して、地域の実情をはじめ、関係機関や地域に暮らす人々からの聞き取りから、さらに現状と課題についての情報を収集する。	SDGsの理念について知り、身の回りの課題について考える。(A)	
6月		なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。(C④) これまでの学習を振り返り、次につながるSTEAM教育を利用した学習への見通しを持つ。(B⑤)	
7月		仮説を立てて検証方法を考える。(B①) 目的に応じて手段を選択し、必要な情報を収集する。(B②)	
8月			
9月	【整理・分析】STEAM教育 ○得られた情報を基に、自己の仮説と調べてわかったことの違いを整理する。 ○それぞれの課題についての解決策や取組のアイデアをまとめる。 ○取り組みのアイデアを、STEAM教育の手法を用いて具現化する方法を選択する。 ○STEAM教育の手法を発表の手段として取り入れたり、試作品を作成したりする。 ○SDGsに関わる発表を振り返り、地域が抱える課題について確かめ、身近な解決策を練る。 ○見つけた課題の解決に向けた計画を立てる。	調べたことを適切に把握し、視点を決めて多様な情報を分析する。(B③) フィールドワークの前後における、予想と実際を比較しながらまとめる。(C④) 持続可能な世界（社会・地域）を願い、主体的にアイデアを生み出そうとする。(C①⑤) プログラミングや動画編集、3DCAD等、STEAM教育の概念や具体的な方法についてわかる。(A)	
10月	【まとめ・表現】 ○これまでの学習をまとめ、地域の現状や課題についての解決策や取組のアイデアを全校生徒へ向けて発表し、地域に対する問題意識として全校生徒で共有する。(文化祭)	意図を明確にして論理的に表現する。(B④)	
11月			【課題の設定】仕事・ボランティア活動 ○持続可能な世界（社会・地域）を実現するための仕事とは、具体的なプロジェクトを立ち上げ、実際に体験することを通してつかむ。(ボランティア)
12月			【整理・分析】 ○地域のニーズを既習内容やアンケートで分析する。 ○学年内で参加者を募り、実行主体として、実現可能なボランティア内容を模索する。 ○ボランティアを実現するために計画を立てる。
1月			【まとめ・表現】 ○2学年生徒を主体として、必要に応じて全校生徒に活動の枠を広げ、実践する。(期間別：部活動休業日…月1回 など) ○活動を振り返り、さらに持続可能なものとするために必要な内容について考察する。
2月			
3月			
各教科等との関連	国語・筋道立てて考える力や論理的に考える力、人とのかかわりの中で伝え合う力 社会・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 数学・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 理科・調査やデータから様々な情報を効果的に分析する力 音楽・すぐれたもの、美しいものに触れ、感動できる豊かな感性と心情 保健体育・個人生活における健康・安全についての理解		美術・表現及び鑑賞を通して、創造活動の喜びを味わうことができる心情 技術家庭・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する力 外国語・文化的な違いを念頭におき、コミュニケーションを図る力 道徳・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度

※育成を目指す資質・能力の例・・・

- A：知識及び技能
B：思考力、判断力、表現力等
C：学びに向かう力、人間性等
- ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ⑤振り返り
①主体性 ②自己理解 ③協働 ④他者理解 ⑤地域貢献

総合的な学習の時間 年間指導計画（錦城中学校第3学年 70時間）

探究課題	自己の生き方・自己の将来について具体的・現実的なものとして考えることで、自己の将来を力強く着実に切り拓いていこうとする資質・能力の育成を図り、社会に主体的に参画し、持続可能な社会の創り手となり得る（職業・勤労・将来設計）		
ねらい	自己の生き方・自己の将来について見つめ直し、持続可能な社会の創り手として主体的にかかわりを持ち、自己実現のための将来設計（こと）（70時間）		
	学習活動（持続可能な世界・地域を考える）	育成を目指す資質・能力	学習活動（地域に生きる・キャリアビジョン） 育成を目指す資質・能力
4月	オリエンテーション 【課題の設定】 ○1年生で発見した地域の課題に対して、2年生で考えた改善策を踏まえ、SDGsの視点から持続可能な世界・地域を実現するための具体的な方法を考える。 (例)・世界平和	異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。(C④)	
5月	・グローバル社会の実現 ・地域活性化 ・地場産業、観光資源	左記の例の中から、持続可能な世界・地域を実現するための具体的な方法について、主体的にアイデアを生み出そうとする。(C①⑤)	
6月	【整理・分析】 ○明らかになった問題を元に、自分たちが修学旅行の訪問先で実行できる取り組みのアイデアをまとめる。 (例)PRのためのチラシ作成	課題を解決するために、主体的に活動しようとしている。(C①)	
7月	【まとめ・表現】 ○修学旅行の訪問先で、片山津のPR活動を行う。 【整理・分析】 ○修学旅行での体験を振り返る。	自分たちの活動を振り返る。(B⑤)	
8月			
9月			【課題の設定】 ○ライフプランニング授業を通して、自分を活かす生き方を考え、自分の将来について見通しを持つ。 課題の解決に向けて適切に情報を収集する。(B②) 課題を明らかにするために、事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。(B③)
10月			【情報の収集・整理・分析】 ○自分の目的にあった情報を収集し、まとめる。 【まとめ・表現】 ○これまでの学習をまとめ、現在の日本におけるライフプランニングの現状や課題についての解決策をまとめ、自身のめざす将来設計をプレゼンテーションする。 ○全校生徒へ向けた発表を行い、若い世代のうちから将来設計をすることの大切さを共有する。 調べたことを適切に把握し、視点を決めて多様な情報を整理する。(B③) 意図を明確にして論理的に表現する。(B④) 自分自身の将来について見通しを持つことができる。(C①)
11月			
12月			
1月			【課題の設定】 ○自分の将来に活かせる学習として、社会に出るために必要なマナーを身につける。 ○自己を活かす表現力を身につける。 【整理・分析】 ○これまでの多様な情報を分類し、学んできたことをもとに、自分の進路選択に活かす。 【まとめ・表現】 ○これまでの学校生活を振り返り、自己のあり方について考えを深める。 自己の将来を活かすために、主体的に活動しようとしている。(C①) 視点を決めて多様な情報を分析する。(B③) 自分の意思や目標を持って課題の解決に向けた活動に取り組もうとしている。(C①)
2月			地域と自分との関わりがわかる。(A)
3月			
各教科等との関連	技術・家庭・社会や生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想する力 特別活動・多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や必要となることについての理解と行動の仕方		特別活動・多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や必要となることについての理解と行動の仕方 道徳・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度

※育成を目指す資質・能力の例・・・

- A：知識及び技能
B：思考力、判断力、表現力等
C：学びに向かう力、人間性等
- ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ⑤振り返り
①主体性 ②自己理解 ③協働 ④他者理解 ⑤地域貢献